

SSW だより



令和5年4月25日発行

今年度からSSWとして、2週間に1回 大泉町立北中学校に勤務させていただく管野永江（かんの ひさえ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）は、児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭と学校をつなぐ役割（人と人・人と制度等をつなぎながら環境の改善をめざす）です。

児童生徒・保護者に SSW の紹介をする時は・・・

「家庭や学校での生活の中で困っていることの相談にのり、一緒に考えてくれる人」と、話をしていただけだと思います。

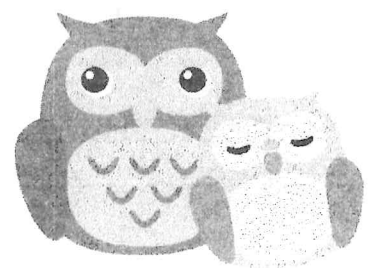
学校と家庭・必要な機関やサービスをつなぐ仕事をします。

相談・家庭訪問・同行支援（役所・病院等への付き添い）に対応いたします。

たとえば こんなことをしています

家庭訪問では

- ① 子どもの家庭での生活状況
 - ② 子どもと家族との関係性
 - ③ 家族が抱える生活課題 等
- の様々な情報収集を行います



外部へ出かけて行きます～情報収集等～

- ・兄弟姉妹の様子等について保育園や小学校で情報収集をしてきます
 - ・適応指導教室へ参観に行き、児童生徒の様子を学校へ伝えます
 - ・「学校には行けないけど・・・話をしてもいい！」というご家庭に訪問します
- ＊「SSW は学校の先生とは違う立場なので・・・」を売りにして

ご希望がありましたら、ぜひ

*勤務日時 原則 隔週 火曜日 10:00～16:45

◆ 勤務時間をずらすことは可能なので、ご相談ください。

1 学期	4/25	5/16	5/30	6/13	6/27	7/11		
2 学期	9/5	9/19	10/3	10/17	10/31	11/17 (金)	11/28	12/12
3 学期	1/23	2/13	2/27					

☆家庭訪問させていただきます～「ご用聞き」として活用を～

- ・お子さん本人 ご家族の話し相手になることで「ガス抜き」をしてもらえたら・・・
- ・「あなたのことを大切に思っています」というメッセージを伝えられたら・・・
- ・学校からの配布物等を届けることで、担任の先生のご負担を少しでも減らせたら・・・



「貧困を背負って生きる子どもたち 智の物語」

YouTube (約8分) のご紹介

滋賀県教育委員会 SSW の幸重忠孝さんが、「子どもの貧困」を理解してもらうため、子どもの貧困課題をテーマにした脚本を作り、作成した動画です。

貧困や虐待など、子ども本人に責任のない問題を家庭に抱えて、学校に通ってくる小学校6年生の智の視点で構成されています。

8分弱の動画ですので、ぜひご覧いただけましたら幸いです。

「何となく気になる」「元気がない」「いつも遅刻してくる」など、日々の様子の中で気になるお子さんについてお知らせいただければ、「子どもが安心して過ごす」ことができるように一緒に考えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

